

知っておきたい

若年性認知症について

めざせ！
健康寿命日本一！



vol.
167

奈良養生訓

「若年性認知症」についてご存知ですか？

認知症のうち、65歳未満で発症したものを「若年性認知症」と呼んでいます。

若年性認知症は働き盛りの世代で発症することが多いため、本人だけでなく、家族の生活への影響が大きくなりやすいです。例えば、経済的な問題や、子どもの教育、さらに親の介護が重なるなど、高齢者の認知症の人とは異なる課題があります。

行動や話すことがいつもと違う

その“気づき”が
「若年性認知症」の発見につながります

本人が感じる変化の例

- 今までやってきた仕事の手順が分からなくなり、時間がかかる。
- 通い慣れた道なのに、目的地に辿り着くことができない。

周りの人が感じる変化の例

- いつもの仕事の手順なのに抜けている部分が多く、目が離せない。
- 会話中、同じことを繰り返したり、急に感情的になるなど以前と違う様子である。



若年性認知症かもしれない

受診先は？

まずは地域のかかりつけ医や勤め先の産業医※1に相談しましょう。専門医療機関※2を受診する必要がある場合は、紹介してもらうこともできます。

周りの人が本人の気持ちに配慮しながら、受診を勧める方法もあります。

※1 労働者の健康管理などについて、助言・指導を行う医師。一定規模の企業には産業医の選任が義務付けられています。

※2 認知症疾患医療センター、認知症専門医、もの忘れ外来など

相談できる場所は？

奈良県若年性認知症サポートセンター

若年性認知症の人やその家族が直面する悩みや不安に、医療・介護・福祉・行政・労働などと連携しながら支援をしています。相談は電話・来所・訪問などにより受け付けています。



市町村の地域包括支援センター

介護や健康、医療などさまざまな面から、地域で暮らす皆さんを支える拠点です。地域住民の身近な相談窓口として、お住まいの各市町村に設置されています。

ピアサポートという支援

ピアサポートは、認知症の人が他の認知症の人と話すことで不安や悩みを分かち合い、互いに支え合う仕組みです。若年性認知症の当事者で、ピアサポートに携わっている平井正明さんにピアサポートについて伺いました。



若年性認知症サポートセンター
ピアスタッフ 平井正明さん

ピアサポートの強みは、同じ経験をし、同じ境遇にいることです。どんなに優れた医者や専門職、家族でも成しえないことです。同じ立場にいるからこそ、心の内を開くことができます。仲間を通じて自分の想いを実現していくという活動がもっと広がっていくことを願っています。

若年性認知症に関する情報・相談窓口はこちらから ▶▶▶

奈良県 認知症とは 🔍

奈良県地域包括支援課 ☎0742-27-8540 📠0742-26-1015